

過年度分について

○本プロジェクトの過年度分（令和元年10月～令和5年9月）については、現地調査を行っていないため、ロープ間隔や重量測定は、令和6年分のものを使用することとする。  
また、含水率、炭素含有量、P／B比等については、令和6年分で実施した文献調査と同じ資料を使用する。

令和6年調査実施結果について

総重量平均：63.8kg

うち 水揚げ分：43.6kg

残置分：20.2kg

養成網の設置間隔：1.75m

結果から

ロープ長1mあたりの養殖コンブ重量：36.45kg

うち 水揚げ分：24.91kg

残置分：11.54kg

過年度分の水揚げ量の参考値は、表3に示しているが、R6年度の測定値よりも高く、R6年度の数値を使用したとしても過大評価ではないことを確認している。

ロープ長については、  
特定養殖共済通知書についての値を使用する。

資料から過年度のロープ長は表1とおりとなっている。

表1 過年度分の特定共済ロープ総延長

	南茅部地区総延長
令和5年度契約特定共済ロープ総延長	517,713m
令和4年度契約特定共済ロープ総延長	514,233m
令和3年度契約特定共済ロープ総延長	506,410m
令和2年度契約特定共済ロープ総延長	492,342m

また同様にロープ長には、1年養殖（促成）コンブ以外の養殖コンブが含まれているため、1年養殖コンブのロープ長を計算することとする。  
1年養殖の割合については、南かやべ漁協の総代会で報告された業務報告書を利用して実

施する。

業務報告書は、表 2 とおりとなっている。

表 2 南かやべ漁業協同組合養殖コンブ取扱量および比率

	取扱量		比率	
	促成（１年養殖）	２年養殖ほか	促成（１年養殖）	２年養殖ほか
令和５年度業務報告書	2,392t	150t	94.1%	5.9%
令和４年度業務報告書	2,145t	308t	87.4%	12.6%
令和３年度業務報告書	2,172t	392t	84.7%	15.3%
令和２年度業務報告書	2,669t	214t	92.6%	7.4%

本プロジェクトでは、１年養殖（促成）のコンブ数量を測定しており、今回

**令和５年度 517,713m×94.1%=487,168m**

**令和４年度 514,233m×87.4%=449,440m**

**令和３年度 506,410m×84.7%=428,929m**

**令和２年度 492,342m×92.6%=455,909m**

を１年養殖（促成）コンブのロープ長として設定する。

また、１年養殖（促成）コンブの過年度分の業務報告書および特定養殖共済ロープ総延長を計算した結果を表 3 に示す。

表 3 過年度分における１年促成養殖コンブの資料から計算した１m当たり水揚量

促成 （１年養殖）	業務報告書取扱量		特定共済ロープ総延長 （計算値）	1m当たり水揚量 （計算値）
	乾重量(t)	※湿重量換算(kg)		
令和５年度	2,392 t →	14,070,588 kg	487,168 m	28.88 kg/m
令和４年度	2,145 t →	12,617,647 kg	449,440 m	28.07 kg/m
令和３年度	2,172 t →	12,776,471 kg	428,929 m	29.79 kg/m
令和２年度	2,669 t →	15,700,000 kg	455,909 m	34.44 kg/m

※乾重量を湿重量に換算するときの含水率は、0.83を使用

（参考）令和６年度1mあたり水揚量（現地測定結果）・・・24.91kg/m

表 3 から、過年度分すべてにおいて、今回の現地測定値を上回っており、令和６年度の現地測定結果を使用することについては、過大とはならず保守的な評価結果となる。